東北６県と整備局が創る
河川・ダム・砂防・海岸事業の新たな連携

# 「個性の大地」

第１２号（平成１６年４月）
東北地方整備局河川部
地域河川課　発行

## １．新任の挨拶



東北地方整備局
地域河川課長　　小関　賢次

この４月に、３代目の地域河川課長として着任いたしました。公共事業費の削減や、三位一体改革による補助金や地方交付税の削減など国・県の厳しい財政状況のなかでの着任となりましたが、みなさんと共に悩み、共に考え、そして一緒に汗をかいて喜びを分かち合えたらと考えておりますので、前任の山内課長同様お引き立ての程、よろしくお願いいたします。

さて、社会資本整備を推進する視点として「用・強・美」ということがよくいわれます。そこで今日の厳しい情勢を背景とした私なりの「要・器用・備」を考えてみました。

「要」はまさに要るか要らないかの議論です。限られた予算のなかでメリハリのつけた効率的・効果的・機動的な事業展開と評価、地域の目線で見た客観的な優先度の判断が求められています。

「器用」は語弊があるかも知れませんが、厳しい時の「チエ」の出し方、創意・工夫、発想の転換です。地域が育んだ歴史・文化・自然環境などの地域の個性を重視した魅力ある地域づくり、連携施策の推進など様々な新たな整備手法の展開が急務となっています。

「備」は備えです。安全で安心に暮らせるための既存ストックの有効活用とＩＴ対策の推進、少子・高齢化への対応、維持管理の強化、ハザードマップ等のソフト施策の推進などです。

この「要・器用・備」のバランスのとれた、次世代を見据えたビジョンを再構築する時期にきているのではないでしょうか。

最後になりますが、いわゆる「カネ」（財政）の厳しい今、東北地方特有の個性のある人柄・労働力、広大な面積、豊かな資源・歴史・文化などの「ヒト・トチ・チエ・モノ」を活かすと共に、本誌「地域連携誌・個性の大地」が各県の皆さんと地方整備局の補助事業担当者との「情報」のツールとして益々充実し、親しまれていくことをお願いいたします。

今後も更なるご指導ご鞭撻をお願い申し上げまして、着任のご挨拶と致します。

## ２．平成１６年度補助事業の概要

### １）事業概要

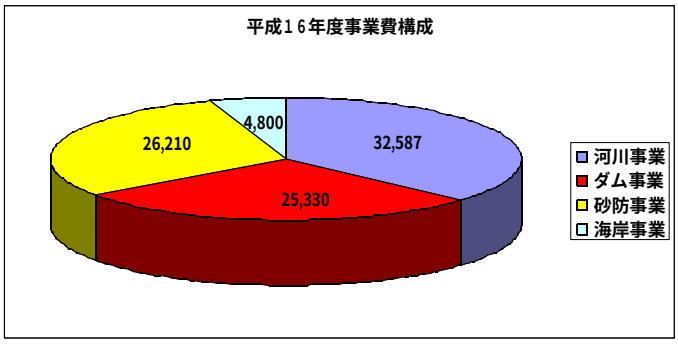
東北地方整備局の河川局所管事業の平成１６年度事業費は、当初予算で総額約８８９億円（前年度比０．８９４）であり、河川、海岸、砂防、ダム事業の計画的・効率的執行により、地域住民が安全・安心で、ゆとりとやすらぎのある暮らしが営まれるとともに、直轄事業や他事業関連との連携調整を図りながら東北地方における社会・経済の基礎となる強く美しい東北を実現するため、社会資本整備の一層を図ります。

**◇平成１６年度事業費（東北）**

総額　　８８９億円　　（単位：百万円）

| 事業区分 | Ｈ１６事業費 | うち一括配分 | Ｈ１５事業費 | うち一括配分 | 伸　率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 河川事業 | 32,587 | 24,443 | 35,678 | 26,854 | 0.913 |
| ダム事業 | 25,330 | 1,114 | 27,728 | 1,830 | 0.914 |
| 砂防事業 | 26,210 | 63 | 30,057 | 183 | 0.872 |
| 海岸事業 | 4,800 | 1,047 | 5,980 | 1,255 | 0.803 |
| 合　　計 | 88,927 | 26,667 | 99,443 | 30,122 | 0.894 |

（単位：百万円）




**◇平成１６年度事業箇所数（東北）**

| 事業区分 | 事　業　箇　所　数 | | |
|---|---|---|---|
| | Ｈ１６ | Ｈ１５ | 増減 |
| 河　　川 | １８３ | ２２８ | －４５ |
| ダ　　ム | ３５ | ４０ | －５ |
| 砂　　防 | ４６１ | ５６３ | －１０２ |
| 海　　岸 | ３５ | ４０ | －５ |
| 合　　計 | ７１４ | ８７１ | －１５７ |

### １）平成１６年度新規施策及び重点事業

**【河川】地震・高潮等対策事業創設　２河川で新規着手**

大規模地震やこれに起因する津波への対策が急がれる昨今の情勢を踏まえて、指定区間の一級河川及び二級河川について、緊急的かつ計画的に地震・津波対策に取り組むため、低地対策河川事業に津波対策を事業対象として加えた上で再編し、「地震・高潮等対策事業」が創設されました。

東北においては、今後高い確率で発生が予想される宮城県沖地震に備え、防潮水門本体の耐震及びゲート開閉速度の改善等を「水尻川・新井田川」で新規着手します。

**【砂防】土砂災害防止のためのソフト対策３本柱の推進・充実**

土砂災害防止のため、ハード対策はもとより、ソフト事業、税制、融資の三位一体のソフト対策を重点的に実施することになりました。そのアクションプログラムとして①土砂災害危険箇所認知プロジェクト②土砂災害情報伝達プロジェクト③土砂災害警戒避難プロジェクトを推進します。

東北においても、各県で計画を立てプログラムを推進します。

【海岸】**災害弱者対策事業創設**

子供、高齢者、障害者等災害弱者の海岸利用の促進と海岸災害からの防護を目的に緩傾斜堤などのハード面、ハザードマップ等のソフト面が一体となった総合的な海岸防災対策として『災害弱者対策事業』が創設されました。

この他、海域浄化対策事業に放置座礁船の撤去が加わるなど３事業で内容の拡充が図られました。

【ダム】**事業重点化の推進**

＜建設ダム＞

事業効果の早期発現を含めコスト縮減改革を推進する観点から、本体工事のダム事業に重点投資し、事業の進捗を図ります。

＜管理ダム＞

ダムの機能の向上を図り、ダムの安全管理を図るため、ダム施設の改良・修繕を実施するとともに、ダム貯水池の水質悪化に対処するため水質保全対策を実施します。

## ３）補助事業の実施方針

①事業の実施方針

東北地方における補助事業については、直轄との連携を図り、全国的にバランスのとれた公共サービス水準の確保に配慮しつつ、地域の個性を活かした「強く美しい東北」を目指して、また各県の施策・構想に基づき取り組んでいるところです。

厳しい財政事情、公共事業の在り方が問われているなかで、事業実施にあたっては、客観性、技術的裏付けが強く求められており、以下の方針に基づき実施します。

◇事業実施にあたっての視点

○事業の必要性の再確認
事業箇所を、整備の必要性、緊急性を現在の安全度、地元との調整、上下流（周辺）バランス、他事業との関連等により再確認します。

○事業実施にあたっての中・長期的な視点
どんな川づくりを目指すかなど地域づくりと整合した、中・長期的な（５年、１０年先）整備戦略の基に、現実的な投資をすることが重要であり、将来の姿が見える展望を持って望みます。

○積極的な連携に基づく事業
地域の要望を的確にとらえ、効果的、効率的な事業を執行するために、各省庁の枠を越えた事業執行が必要なことから、これまで以上に関係部局や他機関とも連絡を密にします。

○事業の重点実施
一連区間の早期効果発現を図る観点から、総花的な箇所付けでなく、可能な限り重点化・効率化を図ります。

○地場産業の使用、現場発生品の再利用等、コスト縮減に努めます。

○画一的な整備でなく、各地域の個性が反映された整備を目指します。

○住民の安全に直結する箇所は、監視等のために光ファイバー網の整備等ＩＴ化を推進します。

②災害時の対応方針

◇事前対応事項

○弱点箇所等の事前把握
○データベース構築
○首長等との連携・情報の共有化
○ＩＴ機器の点検と一層の有効活用
○ハザードマップ策定促進の支援

◇出水時対応事項

○迅速な情報収集・分析・伝達の徹底
○的確な出水予測
○最悪の事態を想定
○被災箇所の原因分析と再度災害防止策の検討
○地元への説明責任

③直轄補助の連携

整備局発足後、技術交流等を目的とした意見交換・情報交換等について、県と整備局合同で行う機会が確実に増えています。より効率的で発展的な県と国との新たな関係のもと、東北の各地域が持つ豊かな自然や地域固有の文化などを活かした河川事業を進めるため、今後ますますこのような意見交換・情報交換等における直轄と補助との連携を進めていくことが重要となり、調整会議等を積極的に活用し、計画の整合・新技術に関する情報提供等の連携を図り、事業を実施します。

## ３．各県の整備方針

**青森県 河川砂防課長**



**神　豊勝**

### 豊かで潤いのある、ふるさとの森と川と海を守る

流域の豊かでうるおいのある生活の礎となるふるさとの森と川と海を守り、これを揺るぎない形で次の世代に引き継ぐとした「青森県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」の理念の下、県民の生命や財産を洪水、高潮、土砂災害から守り、安全で安心して暮らせる県土づくりのため、河川砂防事業を着実に進めて参ります。

さらに、これら治水施設等による安全度向上に加え、インターネットや携帯端末による雨量、水位等の積極的な情報提供や浸水想定区域の指定・公表を順次行い、迅速な警戒・避難活動に生かせるようソフト対策を一層推進して参りますので、引き続きご指導方よろしくお願いします。

**岩手県 河川課総括課長**



**佐藤 文夫**

### 人と自然との共生を求めて

「岩手県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」が昨年度施行され、河川や海岸が有する多面的な機能が発揮されるよう県民参加、自然環境との調和、親水空間の整備・保全などを進めることとしています。

また、財政状況の悪化や住民意識の変化、局地的豪雨の多発など我々を取り巻く環境の大きな変化を十分に踏まえ、次に掲げる３つの基本方針のもと河川事業を進めて参ります。

１　三陸大津波・大洪水・岩手山噴火等、自然災害に備えた危機管理の徹底
２　パートナーシップを確立するための県民への情報提供の充実・情報の共有化
３　効果的・効率的な社会資本整備の推進

**宮城県 河川課長**



**橋本　潔**

### 故郷は遠きにありて思うもの？

「忘れず山は峰高く、白石川は水清し・・」、私が卒業した白石第一小学校の校歌の一節です。私達の心の中には、原風景としての「川」が息づいています。毎日、白石川を見ながら通勤していますが、この風景、川の流れがいつまでも美しく豊かであることを願って、２０年ぶりの河川課での仕事に邁進して参ります。

一昨年、昨年と続いた大災害を思う時、安全、安心の地域づくりが大事ですので、引き続き宜しくご指導願います。

**秋田県 河川課長**



**進藤　鋼**

### 時と豊かに暮らす秋田

秋田県が掲げる「時と豊かに暮らす秋田」に基づき、河川改修・海岸保全対策等の推進、水と親しめる河川・海岸空間の整備に努め、安全・安心でゆとりのある生活環境づくりを進めてまいります。また、昨年度には豊かな自然の創造と未来への継承を目指した「水と緑の条例」が施行され、いままで以上に環境に配慮した事業の推進が必要となっております。

今後は、より一層、秋田らしい川づくりなどに努めてまいりますのでご指導をよろしくお願いいたします。

**山形県 河川砂防課長**



**中村 貢**

### 安全で安心できる県土づくり

本県は、個性豊かで活力ある地域社会を作っていくために、地域の創意や知恵、住民の声を反映させることが重要と考え、有識者や地域住民の意見を反映した最上川水系河川整備計画を昨年９月に策定しました。

今後も赤川水系をはじめ２級水系においても随時河川整備計画を策定し、より一層の地域と一体となった川づくりと各事業の重点化による安全で安心できる魅力ある県土づくりを目指して行きます。国土交通省はじめ各関係機関の方々におかれましては、これらの目標を実現させる為、今後とも引き続きご指導ご支援よろしくお願いいたします。

**福島県 河川企画グループ参事**



**吉田　好秀**

ともに考え、ともにつくる美しい県土

地域住民の参加を得ながら地域の環境や独自の歴史・文化を活かした個性豊かな地域づくりを念頭に置き、自然災害に強い県土基盤の整備を進めます。

また、厳しい財政状況の中で、より一層、早期かつ効果的な対策が図れるよう、湯本川、六角川、南川放水路等への重点投資を行うとともに、対策の進展が遅れる地域や計画を超える災害等に対応するため、降雨、河川、砂防等の情報を迅速かつ的確に地域住民に伝達できるようソフト対策を推進します。

## ４．東北地方整備局河川部の補助事業業務の体制

**①組織**

補助事業について業務が多岐にわたっているため河川部として業務分担を行うこととしています。業務の分担は次の様になっています。部内の調整は地域河川課で行いますので連絡を頂ければ対応致します。

**河川部内の業務分担（補助事業）**

| | |
|---|---|
| 水　政　課 | 河川事業等に関する補助金等の交付決定等 |
| 河川計画課 | １級水系指定区間の基本方針、整備計画の事務<br>１級水系のダム全体計画の事務<br>２級水系の基本方針並びに整備計画の事務 |
| 河川環境課 | １級水系のダム全体計画の事務<br>２級水系の基本方針並びに整備計画の事務<br>水道原水推進保全法関係業務 |
| 河川管理課 | 水防関係業務、補助ダムの出水、地震対応、操作規則、管理設備、試験湛水対応 |
| 河川工事課 | 補助ダムの積算協議、会計検査 |
| 地域河川課 | 河川、都市河川、海岸、ダム、砂防、急傾斜、地すべり、雪崩補助事務に関する全般<br>２級水系の基本方針・整備計画の同意。２級水系ダム全体計画の事務 |

**②地域河川課のスタッフ**

**小関**地域河川課長（M3811）

| | | |
|---|---|---|
| **國松**課長補佐（M3812） | 土田係長、三浦（M3821） | 総括、補助河川、**海岸**事業関係。 |
| | **庄子**係長(M3826) | 河川基本方針等（２級） |
| 中沢建設専門官（M3815） | **庄子**係長 | 補助ダム事業関係 |
| | 安部係長(M3827) | 砂防事業関係 |

５．平成１６年度の主な行事予定

| 年月日 | 事業区分 | 行　　事　　名 | 場　所 |
|---|---|---|---|
| 4月　1日 | ダム | 世増ダム運用開始 | 青森県 |
| 4月15日 | 全般 | 河川関係補助事業担当課長連絡会議 | 宮城県 |
| 5月中旬 | 河川・港湾 | 松島湾リフレッシュ清掃 | 宮城県 |
| 5月下旬 | 全般 | 青森県ふるさとの森と川と海保全創造審議会 | 青森県 |
| 6月　4日 | ダム | 上大沢ダム竣工式 | 宮城県 |
| 6月16～17日 | 海岸 | 北海道・東北・関東ブロック海岸事業担当者会議 | 岩手県 |
| 6月中旬 | 砂防 | 青森県土砂災害防止講演会 | 青森県 |
| 6月中旬 | ダム | 鷹生ダム最終打設式（仮称） | 岩手県 |
| 7月28日 | 河川 | 六角川安全祈願祭、鍬入式、起工式典 | 福島県 |
| 7月下旬 | 全般 | 森と川と海のシンポジウム | 青森県 |
| 7月下旬 | 河川 | 貞山運河フェスティバル | 宮城県 |
| 7月下旬 | 河川 | 運河フェスティバルin鳴瀬 | 宮城県 |
| 7月下旬 | 河川 | 河川関係補助事業担当者会議 | 福島県 |
| 7月30日～8月1日 | 河川・ダム | 世界子ども水ﾌｫｰﾗﾑﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟin東北（花山村） | 宮城県 |
| 8月31日～9月3日 | 砂防 | 日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会 | 秋田県 |
| 9月下旬 | 河川 | 親子自然教室in広瀬川 | 宮城県 |
| 10月 | ダム | こまちダム定礎式 | 福島県 |
| 10月 | ダム | 東北・北海道補助ダム建設（調査）事務所長会議 | 青森県 |
| 10月28日 | 河川 | 雪谷川河川災害復旧事業等竣工式 | 岩手県 |
| 10月下旬～11月上旬 | 砂防 | 北海道・東北ブロック砂防関係事業担当者会議 | 北海道 |
| 9月30日～10月1日 | 砂防 | 火山砂防フォーラム | 岩手県 |
| 10月20日～10月21日 | 砂防 | （社）砂防学会シンポジウム | 宮城県 |
| 11月 | 河川 | 北海道・東北六県・札幌市・仙台市治水事業担当者会議 | 青森県 |
| 12月上旬 | 砂防 | 雪崩防災教室 | 青森県 |
| ３月下旬 | 河川 | 砂押川改修勿来川遊水池概成 | 宮城県 |

## 編集後記

平成１６年度がスタートし、初めての「個性の大地」を発刊させていただきました。整備局のメンバーも大幅に代わりましたが前任者同様「個性の大地」を通じて、個性ある暮らしを育む東北の大地を実現していくための情報発信を進めていきたいと思います。次号からは、前回号に掲載した編集方針で進めてまいりたいと考えています。地域の話題、新たな取り組み、技術紹介等の情報が有りましたら、当方もしくは、各県の編集員（河川担当課編集員）にお願いします。また、投稿などは随時受付けていますので是非御一報ください。

本誌に関して御意見、問い合わせがございましたら　地域河川課　までお願いします。
発行　国土交通省 東北地方整備局 河川部 地域河川課
〒980-8602　仙台市青葉区二日町９番１５号
TEL022-225-2171(大代表)　FAX022-262-6690
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　http://www.thr.mlit.go.jp/kasen/